

22世紀の教育行政システムを 考え始めよう

—21世紀を生きる大人達の最後の責任—

登壇者

2026年

10月10日(土)

13:45~16:15 (予定)

@東北大学川内南キャンパス
文科系総合講義棟(対面)

@Zoomウェビナー(オンライン)



合田 哲雄
文部科学省
高等教育局長



石井 英真
京都大学大学院
教育学研究科 教授
中央教育審議会
教育課程部会 委員

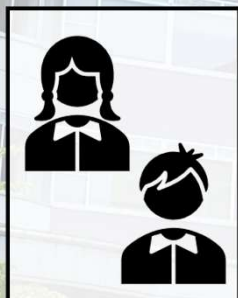


徳久 恭子
立命館大学
法学部 教授

参加費無料



高橋 洋平
鎌倉市
教育長



大学生
高校生

対面・オンライン
参加申込は
こちらから！



現代日本における出生数の減少や地域人口の偏在は、学校配置、教職員の確保、教育財政、高等教育機関の維持など、教育行政に広範な影響を及ぼしています。

本シンポジウムでは、2040年代、学制発布から200年となる2072年、さらに22世紀までを視野に、教育行政のあり方を考えます。変化する人口規模や地域社会の中で教育機会をいかに保障し、そのための制度や提供体制をいかに再構築するのか。教育行政の実務と研究の双方から、将来世代に引き継ぐ教育制度と、教育行政が負う責任について、中教審委員や大学生・高校生も交えて議論します。

ご参加の方は、二次元コード/URLよりお申し込みください。
<https://forms.gle/U1FKnx2hrYqv7M2R8> ※大会参加者は不要。

■ 対面参加

10月7日(水)までの事前申込にご協力ください。なお、事前申込のない方も当日ご参加いただけます。会場受付にお越しください。

■ オンライン参加

申込締切: 10月7日(水)

お申し込みいただいた方に、オンライン参加方法をご案内します。



青木 栄一

東北大学大学院 千葉大学 副学長・教授
教育学研究科 教授 中央教育審議会 副会長
日本教育行政学会 日本教育行政学会
第61回大会実行委員長 会長



貞広 斎子

共催: 東北大学大学院教育学研究科、日本学術振興会科学研究費助成事業基盤研究 (A) (25H00526)
後援: 宮城県教育委員会、仙台市教育委員会 協力: 公益財団法人仙台観光国際協会